

(学内者向け) リモートアクセスによる電子リソースの利用について

学外から大学の契約コンテンツにアクセスする方法を提供している出版社等について、以下の通り、お知らせします。

これらのサービスは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による研究活動の支援等を目的として出版社等が独自で行っているもので、予告なしに変更及び中止になることがあ
る旨、ご承知おきください。

※掲載している情報は 2022年6月現在のものです。

※これらコンテンツの学外利用は名城大学に在籍中の学部生、大学院生、教職員等が対象です。

※電子リソース利用ガイドライン (<https://www.meijo-u.ac.jp/library/pdf/guidelines.pdf>)

に則り、各出版社等の利用規約に従ってご利用ください。

1. 出版社のプラットフォームでユーザー登録を行う方式

○出版社等の提供するリモートアクセスサービスにより、外部アクセスを行う方式です

利用の際は、提供元の Web サイトでユーザー登録等を行う必要があります。ユーザー登録後、一度、学内ネットワーク内でログインすることで、一定の期間、学外の端末からもアクセスが可能となります。

※原則、有効期限内に学内からログインすることで、期限は延長されます。

※失効してしまった場合は、上記の手続きを再度行うことになります。

※利用者自ら登録いただければ利用可能になります（大学側で承認等の処理は発生しません）

※出版社等提供のサービスのため、エラー等について大学側で対処できないことがあります。

出版社等	URL	有効期間
American Chemical Society	Remote Access to ACS Publications	4 か月
American Physical Society	Off-Campus Access to Physical Review	3 か月
Springer Nature	Remote Access	180 日
Taylor & Francis	Institutional access using an individual login	90 日
Wiley	リモートアクセスのご利用方法	60 日

2.Google Scholar CASA を用いた方式

○Google Scholar の CASA(Campus Activated Subscriber Access)によるアクセス方式です

ご利用の際には、まず学内のネットワークから、個人の Google アカウントを用いてログインし、Google Scholar にアクセスします。これにより、個人の Google アカウントと所属機関の紐づけ（ペアリング）が行われ、学外で Google Scholar を利用して検索を行うと、名城大学で契約している電子ジャーナルへのリンクが表示されるようになります。

※紐付けの有効期間は出版社等ごとに異なります。

※Google アカウントとの紐づけについては、大学提供のアカウントか個人で登録したアカウントかを問いません。

※当サービスは、Google 社が提供するものです。利用時に発生するエラーや障害等については、大学では対応ができませんのでご了承ください。

Google 社の Campus Activated Subscriber Access に対応している出版社等	
American Chemical Society	Oxford University Press
American Physical Society	Springer Nature
EBSCO	Taylor & Francis
JSTOR	Wiley

※上記以外にも対応済の出版社等があります。

※閲覧できない場合、本学で当該出版社と未契約の場合やペアリングの有効期限切れの可能性がります。

3.外部接続用 ID/PW を用いた方式

○EBSCO 社の提供するデータベースにつき、大学で発行した ID/PW を用いて外部アクセスを行う方式です。

ご利用の際には、以下の問い合わせ先にご連絡ください。原則、専任の教職員を対象としており、学外者の方には ID をお伝えできません。ID/PW の有効期限は1年間です。引き続きご利用の際には改めてご連絡ください。また、ID/PW は学外に漏らすことのないよう管理願います。

(対象となるデータベース) Academic Search Premier, Business Source Premier, Econlit, MEDLINE

(問い合わせ先) 附属図書館情報管理課： lib-ej[at]ccml.meijo-u.ac.jp

※送信の際には [at] 部分を@に変えてお送りください

(参考) Google Scholar とのペアリングについて

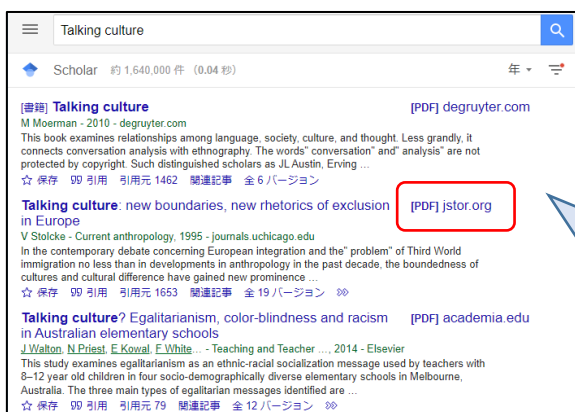
- ①学内ネットワーク内で Google Scholar (<https://scholar.google.com/>) に接続します。
- ②右上にある「ログイン」を押下し、個人アカウントでログインします。



ログインすると、右上に人型のアイコンが表示されます

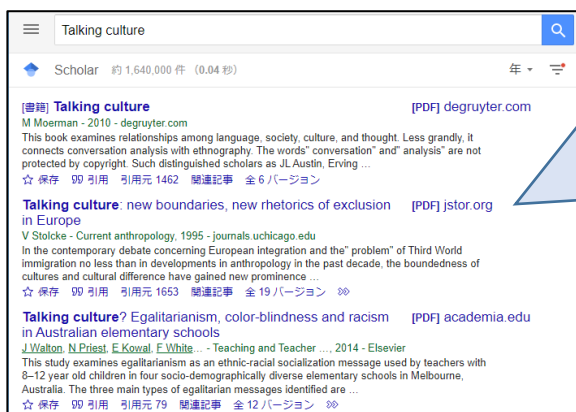


- ③検索窓でジャーナル名、論文名等で検索します。



検索結果の右側に[PDF]または[HTML]が表示されるものはペアリングが完了しています。

- ④【学外環境】学内接続で使ったアカウントを用いて Google Scholar にログインします。→Google Scholar で論文等を検索すると、検索結果の一覧のうち、ペアリング済みのデータベース等に収録された論文へのリンクが学内環境と同様に表示されるようになります。



ペアリングできていない場合は[PDF]または[HTML]へのリンクが出てきません。



※大学で契約していないものや Google Scholar CASA 未対応のジャーナルもリンクは表示されません。

- 有効期限は学内ネットワークで最後にログインした日から原則 30 日です（出版社等ごとに有効期限は異なります）。学内ネットワークから再ログインすれば期限は延長されます。

以上